

# なぜ WOC クリニックを開設したのか

村田幸生

むらた日帰り外科手術・WOCクリニック 院長

## Point

- ▶ 在宅診療，とくに褥瘡ケアやストーマケアこそ，WOC ナースの特殊性を生かしたチーム医療ができる
- ▶ 病院でおこなうベッドサイドや外来での処置やケアを，在宅でも遜色なくおこなうために WOC ナースを有効活用できるかが鍵となる
- ▶ 在宅医療に関わる WOC ナースが増えることで，これからの在宅医療を円滑に進めていくことができる

## はじめに

なぜ WOC クリニックを開設したかを語る前に，開業するきっかけを話さなければならないと思います。皆さんご存じの東日本大震災，2011年3月11日にそれは起こりました。未曾有の大震災です。当時，石巻市立病院に勤務していた筆者は，壊滅的なダメージを被った病院に働く場所はなく，避難所などを毎日転々としながら移動手段のない患者のもとに足を運びました。これまでの病院勤務では，病院は患者が来る場所，来てもらう場所という認識しかありませんでした。そこで初めて，

赴く診療をしました。硬い床に寝泊まりしていたため発症した褥瘡患者や褥瘡が悪化した患者。ストーマ装具が津波で流されたため，トイレトーパーなどで，あらわになったストーマを隠している患者。逃げる途中でケガをして，蜂窩織炎となって動けない患者などなど，筆者1人ではどうにもならない非日常的な診療が待っていたのです。満足な道具がない，自動で高くなるベッドがない，受け入れてもらえる病院がない。非日常的な環境のなかで，その場でできるかぎりの診療を

する。そのような治療経験が、日帰り手術クリニック開業のきっかけとなり、WOCクリニックの原点になった出来事でもあります。

本章では、クリニック開院当初から現在に至る

歴史を語るとともに、在宅診療、とくに在宅褥瘡治療を中心に、在宅診療における当院でのWOCナースの役割と課題について述べたいと思います。

## クリニックを開院するにあたり筆者が求めたもの

筆者が医師になって経験してきた外科医としての技術を生かした開業がしたいと、震災以前より思っていました。そんななか、被災して働く気力のなくなった筆者の想いをかなえてくれる開業スタイルに、震災後に参加した学会で出会うことになったのです。それが日帰り手術のクリニックでした。そして、外科手術以外にも大学病院で経験したWOC外来（とくにストーマケア）をクリニックでもできないかと考え、2012年10月1日、宮城県仙台市にむらた日帰り外科手術・WOCクリニックを開院したのです。開院当初は医師1人、医療事務2人、非常勤看護師1人、WOCナースは他院より派遣対応していたため、日帰り手術と定期訪問診療、WOC外来をしていました。しかし、毎日の手術と24時間体制でおこなう在宅診療はどうしても制限がありました。手術中に電話があっても早急には対応できないジレンマがあった

のです。そんななか、ある訪問診療で出会ったケアマネジャーから、褥瘡患者の処置について相談されたのをきっかけに、筆者が想像していた以上に在宅で悩みを抱えている褥瘡の患者が多いことを知ったのです。治療途中で退院させられた患者や巨大なポケットを有するにもかかわらず入院拒否をする患者、お金がなくて治療を拒否する患者など、社会的理由や金銭的理由でスムーズな治療ができない在宅褥瘡患者が多かったのです。

そこで、在宅褥瘡治療を専門にやることを決意しました。定期訪問している医師は内科系医師が多く、情報提供書は内科系医師からもらうことが多かったため、ニーズに応えたいという思いもありました。そしてやるからには病院と遜色なく診療するため、チームをつくる必要性を強く感じました。勤務医時代に参加したNST回診や褥瘡回診を在宅でおこないたかったのです。

## チームづくりをするうえで何を目標にしたか

在宅褥瘡治療を提供するうえで、筆者の考えている患者のニーズは2つあると思っています。クオリティーが高く幅広いサービスと、アクセスのよさです。それらを実現するため複数の専門職が揃うことでさまざまな可能性が生まれると思うのです。在宅患者は病院での治療と同じようにベストな治療ができるわけではないのが現実です。し

かし、複数の専門職がそれぞれ状況に応じてベストを尽くすことで、よりベターな治療が提供できるはずです。理想はWOCナース、在宅訪問管理栄養士、在宅訪問薬剤師、訪問リハ、訪問看護師、医療事務でつくるチームです。ことさらWOCナースの必要性を感じ、2014年には常勤WOCナース（訪問看護師兼務）、2015年には非常勤在宅訪問管

理栄養士，2017年には非常勤訪問薬剤師を加え，徐々にチーム力は上がっていきました。訪問リハ職は残念ながらまだいませんが，それでもまず，クオリティーの高い医療とケアを幅広く提供できるようになりました。そしてアクセスのよさを実現でき，医療をデリバリーするという意味で好ア

クセスになりました。チームで定期的に訪問することで情報共有ができ，さらに WOC ナース，栄養士，薬剤師，訪問看護師がそれぞれ訪問することで，常に最新の情報を知ることができます。また，WOC ナースの得意分野でもあるストーマトラブルも即座に対応可能なのです。

## 在宅褥瘡治療の実際

それでは当院の在宅褥瘡対策チームの実際をみていきます。

### 紹介

まず，紹介されるきっかけとしてはケアマネジャー，訪問看護師，施設，クリニック，総合病院や大学病院の地域医療連携室からが多く，まれではありますが患者家族より直接電話で依頼があったり，インターネット予約から依頼が来たりすることもあります。情報提供書および可能なかぎり創の写真をメールなどに添付してもらい，情報収集します(図1)。

### 事前カンファレンス

次に事前のカンファレンスで在宅患者訪問褥瘡管理指導料算定の条件に合うかどうか判断し，栄養採血採取の有無，切開が必要かどうかなどを判断します。

その他，褥瘡悪化に関わる因子の有無，キーパーソンの存在の有無，介護度，経済環境などもチェックします。また，継続処置の患者の場合は，前回訪問との比較，同様処置は継続か否か，処置軟膏は変更すべきかどうか，食事内容の変化や摂取量の変化などを話し合います。

訪問診療導入シート		(日誌年-4月14日改定版)
【記入日】 年 月 日 ( ) 【原患・記入者】		
【患者氏名】 (男・女)	【介護度】 要介護	【ケアマネ氏名】
【生年月日】 年 月 日 ( )	【入院中】	【居宅名・TEL】
【住所】	【自宅】	
【TEL】	【施設】	
【病名】	【寝たきり】	【車椅子】
【既往歴】	【トイレまで】	【歩行可】
【家族構成】	食事: <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 全介助	
	排泄: <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> PTトイレ <input type="checkbox"/> オムツ	
	移乗: <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 全介助	
	その他:	
	【認知症/SP50】	
	<input type="checkbox"/> 幻聴幻覚 <input type="checkbox"/> 妄想 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 暴言 <input type="checkbox"/> 暴行	
	<input type="checkbox"/> 介護拒否 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 火の不始末 <input type="checkbox"/> 不潔行為	
	<input type="checkbox"/> 喫食 <input type="checkbox"/> 性的問題行動 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
【キーパーソン】 TEL:	【在宅サービス】	
【主介護者】 TEL:	<input type="checkbox"/> 訪問看護 日/週 (月 火 水 木 金 土 日)	
【介護に携われる方】	(事業所 TEL: )	
【生活型/性格/趣味】	<input type="checkbox"/> 訪問リハ 日/週 (月 火 水 木 金 土 日)	
	(事業所 TEL: )	
	<input type="checkbox"/> 訪問入浴 日/週 (月 火 水 木 金 土 日)	
	(事業所 TEL: )	
	<input type="checkbox"/> ヘルパー 日/週 (月 火 水 木 金 土 日)	
	(事業所 TEL: )	
【医療施設】	<input type="checkbox"/> デイサービス 日/週 (月 火 水 木 金 土 日)	
<input type="checkbox"/> 胃腸 食事内容:	(事業所 TEL: )	
(種類・サイズ: 最終交換: )	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 経管栄養 食事内容:	(事業所 TEL: )	
(種類・サイズ: 最終交換: )		
<input type="checkbox"/> 褥瘡パルス	【その他 (褥瘡・褥瘡・褥瘡・褥瘡・褥瘡・ストーマ)】	
(種類・サイズ: 最終交換: )		
<input type="checkbox"/> 褥瘡		
(部位: 処置方法: )		
<input type="checkbox"/> 褥瘡 (方法: <input type="checkbox"/> 薬物 <input type="checkbox"/> IYM <input type="checkbox"/> ポート)		
(処置内容: )		
<input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 吸引 (回数: )		
(貸出し: <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要)		
<input type="checkbox"/> 在宅酸素 ( L/分) <input type="checkbox"/> インスリン <input type="checkbox"/> SMOG		
<input type="checkbox"/> その他		

図1 当院における訪問診療導入シート  
患者紹介時の情報入手時に，簡単な導入シートでこれまでの経過や状態，状況，周囲を取り巻く環境などをチェックしている

### 訪問

そしていよいよ訪問となります。初診で訪問する場合，可能なかぎり WOC ナース，在宅訪問管理栄養士，訪問薬剤師，医療事務，医師のチーム